

ハルバ嶺における事業について



平成28年2月3日(水)
第15回遺棄化学兵器処理事業に関する有識者会議

2015年度ハルバ嶺試験廃棄処理事業の結果

- ・ 2015年4月から7月末まで試験廃棄処理を実施し、計938発の処理を行った。
- ・ 化学剤分解率は、99.9%以上を達成。
- ・ その他の項目（総ヒ素、SO₂等）も、排出基準をクリア。

○処理砲弾数

区分			加熱爆破	制御爆破	合計
砲弾	きい弾	75mm	65	36	101
		90mm	65	36	101
		105mm	7	16	23
		150mm	7	8	15
	あか弾	75mm	265	228	493
		90mm	126	36	162
		105mm	7	19	26
		150mm	－	8	8
有毒発煙筒	あか筒	小	9	－	9
合計			551	387	938

●2016年度の廃棄処理を円滑に行うことができるよう、以下の準備作業を実施した。

1. 第1期事業（4月20日～5月28日）

- ・ 臨時保管庫にあった不明弾1,049発に対しX線鑑定を行い、1,040発を遺棄化学兵器、9発を通常弾と確認し、通常弾を中国側に引き渡した。

2. 第2期事業（10月23日～11月9日）

- ・ 臨時保管庫にあった弾頭部等欠損のため鑑定判定のできない不明弾80発につき、充填物を調査の上、遺棄化学兵器と確認した。また、保管砲弾1,284発の仕分け作業を実施した。

●2016年度は、ハルバ嶺において初めて、4月から11月という長期間にわたり、試験廃棄処理と発掘・回収を同時並行的に実施予定。

(1) 試験廃棄処理の実施

- ・現在ハルバ嶺にある保管砲弾を全て処理するとともに、2016年度に新たに発掘・回収する対象砲弾も処理予定(2016年度計6千数百発を処理予定)。

(2) 発掘・回収の実施

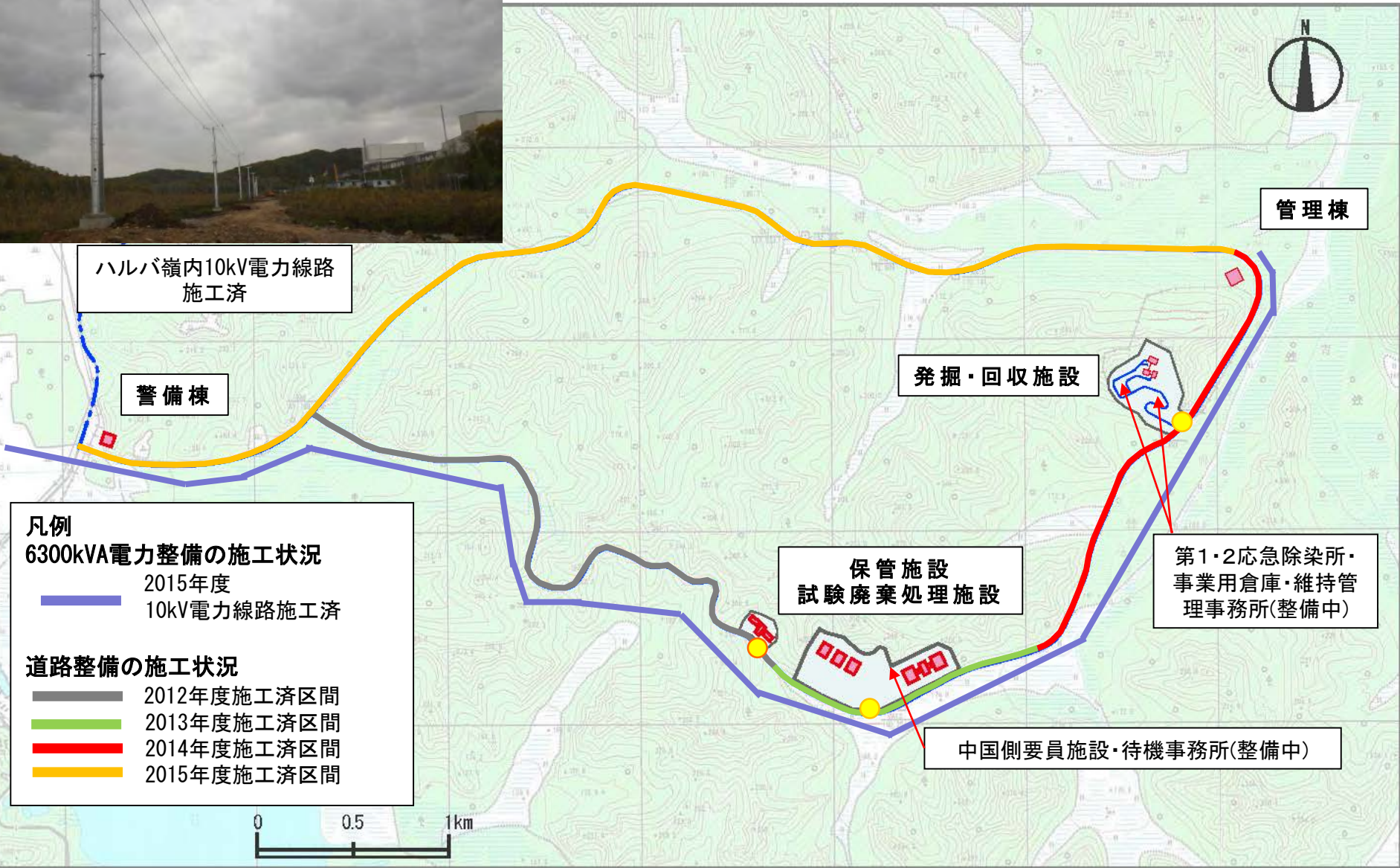
- ・1号発掘棟につき、砲弾層より上部の土砂を全て排土するとともに、砲弾層から対象砲弾を発掘・回収する予定(約4,000発を見込む)。

ハルバ嶺事業今後2年間のスケジュール（予定）

2016年度	1／四	2／四	3／四	4／四
発掘・回収事業		発掘・回収		維持管理
試験廃棄処理事業		試験廃棄		維持管理

2017年度	1／四	2／四	3／四	4／四
発掘・回収事業	X線鑑定(2号機)装置据付	発掘・回収		維持管理
試験廃棄処理事業		試験廃棄		維持管理

ハルバ嶺インフラの整備状況（参考）



ハルバ嶺内10kV電力線路
施工済

警備棟

管理棟

発掘・回収施設

保管施設
試験廃棄処理施設

第1・2応急除染所・
事業用倉庫・維持管
理事務所(整備中)

中国側要員施設・待機事務所(整備中)

- 凡例**
- 6300kVA電力整備の施工状況**
- 2015年度
 - 10kV電力線路施工済
- 道路整備の施工状況**
- 2012年度施工済区間
 - 2013年度施工済区間
 - 2014年度施工済区間
 - 2015年度施工済区間

